



平成十一年九月十五日 発行
編集責任者 細川勝也

8 お祭り特集号

飛木稲荷神社について

飛木稲荷神社のなりたちについては不詳ではありませんが、言い伝えによると、「鎌倉覆滅して、北条氏の一門逃れてこの地に転住し、稲荷大神を奉せり。」という説と、「大昔の在る時、何処からか暴風雨の際イチヨウの枝が飛んできて、この地に刺さり、いつのまにか亭亭とそびえたので時の人がこれは異状のことであるとして稲荷神社をまつた。」という説があります。その後、「古来、かまと」と称し、七戸の氏神であった。」と伝えられ、水田地帯であった請地村の鎮守の神(氏神)としての歴史を歩み始めることになりました。

利根川は現在の隅田川であり、本流は江戸時代、徳川家康による水路変更の治水工事により、銚子を河口とする今の姿になりました。

この地域は葛西地域の西の海岸線の一部となっており、平安、鎌倉時代あたりから後の本所・向島の境ともなる古川沿いに自然堤防となっていたと推定されています。江戸時代この辺りは寺島新田と呼ばれ、順次開拓されていく様子が伺えます。

請地の地名は、浮地の意味で、利根川がデルタ地帯(三角州)を作って陸地化していく過程を示す言葉です。氏子地域は、多少の変遷をたどり、現在、押上一丁目仲町会、押上二丁目町会、押上南町会、押上成和町会、押上三丁目仲成町会、押上文化町会、京島二丁目協和町会、京島二丁目町会、京島三丁目中央町会、京島三丁目北町会、八広北町会の計十一の町会

であり、都営文化団地一帯も氏子区域に含まれます。一方、飛木稲荷神社の歴史は、その名の由来といわれる御神木のイチヨウがすべてを語っているとも云えます。「南葛飾郡神社要覧(昭和七年発行)の中で次のように書かれています。

「樹齢数百年を算する霊木にして神社の往古を証するに足る郡内唯一の大木なり。飛木稲荷神社の名は実に此神木を摩する偉観を賛美せるに因るなり。」と紹介しています。

この御神木のイチヨウは、戦災で一部が焼失したために、木の高さは十五メートルと低いです。周囲は約四・八メートルもあり近年勢いを盛り返し、樹形も段々整ってきました。樹齢も五、六百年はくだらない墨田区第一の大木であり、震災・戦災にも耐え、繁茂して悠久の命を伝えていきます。



一口知識

おいなりさん

稲荷神社(お稲荷さん)は現在わが国に三万二千社あり、約八万社ある神社の半数近くを占めています。お稲荷さんの総本社は、京都の伏見稲荷大社であり、元明天皇の和同四年(七一)二月初午に秦伊呂呂(はたのいろく)という人が鎮祭した神社です。

稲荷神社の祭礼というと、まず初午を思い浮かべますが、この祭りはこのことにちなんで二月初めの午の日に行われるようになりました。

ご挨拶

会員各位 押上一丁目仲町会

町会長 細川勝也
祭礼委員長 高橋邦夫

平成十一年度 飛木稲荷神社祭礼についてお願い

会員の皆さまには益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。初秋を迎えて町会の皆様との親睦を深める楽しいお祭り『飛木稲荷神社祭礼』が近づいてきました。

今年例祭なので日程は九月十七日(金)から十九日(日)の三日間とし、神酒所は町会会館に設けることに決定いたしました。つきましては、祭礼はすべて皆様からの奉納により運営いたしておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

尚、祭礼行事日程は左記の通りです。屋は神輿、太鼓(山車)の町内巡行、夜は演芸、模擬店などお楽しみあり、若者男女ご家族お揃いで参加できる楽しい趣向を企画しておりますので、多数のご参加をお待ちいたしております。皆々様のご協力を賜りますようお願いいたします。

【飛木稲荷神社例祭日程】

- ※九月十七日(金) 朝七時半集合
- 神酒所建設 八時
- 神酒所完成 正午
- 宮司お祓い 午後一時
- 神酒所受付 正午～五時
- 子供太鼓、祭礼おどり(演芸) 午後七時～八時半

「場所」神酒所前

- ※九月十八日(土)
- 神酒所受付 午前九時～午後五時
- 子供神輿、太鼓(山車) 神社参拝 午後二時～四時

(山車に参加の幼児に無料模擬券を配布)

演芸 (ゲーム大会)

- 祭礼模擬店 午後四時半～六時半
- (神酒所前)
- 神酒所前 シャンケン大会 三回
- ピンゴゲーム 二、三回

※九月十九日(日)

- 神酒所受付 午前九時～正午
- 子供神輿、太鼓町内巡行 午前九時～十時
- 大人神輿町内巡行 正午～三時

【祭礼おどりとゲーム大会】演芸部

- ◎九月十七日(金) 午後七時～八時半
- 「場所」神酒所前
- 子供太鼓参加による祭礼おどりをを行います。
- 「東京音頭」「すみだ音頭」「炭坑節」「マイム・マイム」など楽しいおどりで祭りを楽しみましょう。

◎九月十八日(土) 午後七時～九時

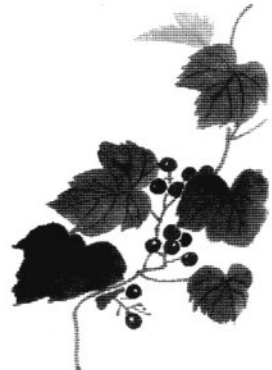
- 「場所」神酒所前
- シャンケン大会とピンゴゲーム大会を行います。
- 多数の賞品を用意いたしますので是非皆様に参加をお待ちしております。

【祭礼模擬店】しらとり子供会

- ◎九月十八日(土) 午後四時半～六時半
- 「場所」神酒所前
- ☆子供会会員および町内七十五歳以上の方にも無料模擬券を配布いたします。
- 十八日(土)太鼓(山車)参加の幼児にも無料模擬券を配布いたします。
- また現金にて会場で模擬券を販売いたします。

《模擬店の種類》

- ◎焼きそば 一〇〇円
- ◎一円玉落し 五〇円
- ◎フランクフルト 一〇〇円
- ◎わなげ 五〇円
- ◎飲み物 八〇円
- ◎ひもつり 五〇円



各部からの連絡事項

※「敬老の日おめでとういっしょにやります。」皆さん楽しんでますか？

私たちの押上一丁目町会には、一〇一歳の橋爪きみさんを始め、七十五歳以上のお年寄りが四十人も暮らしています。その方たちに町会から今年も、敬老のお祝いとして、祝い金をお配りさせていただきます。

お年寄りといっても私たちの町のシルバー・エイジは「若いもんには負けていけない」と現役で仕事を続けられたり、引退してからは趣味に熱中したりと元気いっしょ！

町内会の六〇歳以上のお年寄りで作る「押すこやかチーム」では、最近輪投げを始め、墨者連主催の高齢者輪投げ大会の上位入賞を目指して頑張っているそうです。

「おじいちゃん、おばあちゃんガンバレ！応援してるぞー！」

そんな元気の良さで、これからも私たち若いものの尻をたたいてみたり、至らない所があったら叱り付けたり、この町のこれからは温かく見守っていただければと思います。 福利厚生部

※祭礼における「交通係」の役割について

今までお祭りの期間中大きな事故が無かったことは大変喜ばしいことです。私達はこれからも楽しいお祭りをするべく常に細心の注意をはらって役割を果たして行きます。

※「秋の交通安全週間」が始まります。

期間は九月二十一日から三十日までです。いつもながらのことですが、町内の皆様方に協力のほどよろしくお願いたします。 交通部

※仲町会行事の中で最大イベントである飛木稲荷神社祭礼が近づいてきました。

十八日午後と十九日午前の二回出ることにになりました。十八日は学校はお休みではありませんが、風呂銭やシャユース、お菓子などたくさん用意してあります。

「粹でないせな下町っ子大集合ー！」

子供神輿担当 並木行雄

ちよつと一言 細川勝也

私は近頃こんなことを思った。生れて来て、あなにも自然に生きることを忘れていたような気がしている。今、この時代の生活のテンポがあまりにも早すぎて私自身歳をとることを忘れてしまっている。毎日の生活プログラムのリズムが世の中あたりまえのように回転して行く。

考えてみると、これが生れて来て社会に生きる基本でもあるのだが、こんな人生が自分にとって近頃不満でならない。出来る限り、自由にそしてまた毎日が動物のように自然に行動がとれる生き方をしたい。たとえば、朝自由に起きて食事をとり、仕事をし、社会的に反しないように生活し、せめて都会の雑踏の中で少しでも心の休まる毎を送りたいと思う。それはなぜかといえば、一度しかない人生のために、両親から大切な体ももらったのだから。そして少しでも長生きしたいから。

12月までの当面の行事予定です。(終了分含む)

- 8月 隅田川花火大会警備参加
墨中地区盆踊り大会開催の警備、神輿などの虫干し
- 9月 地域防災週間町内パトロール、飛木稲荷神社例祭、敬老祝い、秋の交通安全運動
- 10月 隅田公園環境対策特別パトロール、
- 11月 防災訓練
- 12月 町会会館歳末大掃除、歳末特別警戒実施



押すこやかチーム(OST)

社会活動の一つとして墨田区内の幼稚園、保育園、福祉施設などに雑巾など寄付する運動に協力し、OSTでも会員各位のご協力でタオルなど約二百十枚が集められ七月十三日にたちはな保育園へ納めてきました。

七月二十一日から三十一日まで子供会と一緒にラジオ体操に参加しました。

七月二十四日(日) すみだ中小企業センター五階サンシャインホールにて「かたりべの会」の後、すいとんを作る係りにOSTより二名参加しました。戦中、戦後の頃を思い出し、その頃のすいとんは格段と違う材料で大勢参加して美味しく頂きました。

第二回誕生日会を七月二十五日(日) 二時より会館にて開催しました。六、七月生まれは十二名で参加者二十七名、誕生日の方には花束を差し上げ、お菓子で一時を楽しみました。

八月二十六日(木) 向島百貨園の虫の音を聞く会を企画し、十八名参加して出かけました。薄雲に見え隠れする月、草むらで涼しげに奏でる虫の音、NHKの生放送の為ライトが少々気になりましたが思い出に残る一時を過ごしました。

九月九日(木) 墨田区老人クラブ連合会主催の輪投げ大会に参加します。

十月九日(土) 日帰りバス旅行「甲斐路の旅」を企画しています。皆様お誘い合わせの上多数ご参加下さいませ。

押上一丁目町会婦人会

廃品回収は、婦人会と子供会で一月交代で行っております。七月は婦人会の担当でした。皆様のたくさんのご協力有難うございました。

八月六日(金)、七日(土) は墨中地区盆踊り大会でしたので婦人会から十名が参加致しました。大勢の方で大変にぎやかな盆踊り会場でした。地元の子供達にとっても和気あいあいの楽しい二日間だったと思います。

九月の祭礼には、総務と演芸のお手伝いをいたします。楽しい祭礼になるように、また皆様と親睦を深めるとても良い機会だと考えております。

残暑厳しい中、子供会では、八月二十九日(日)に最後の夏休み行事としてボーリング大会が催されました。総勢二十九名、送迎バスで一路アイビーホール向島へ向かいました。大人も子供も時間の経つのも忘れ、ボーリングに熱中しました。パーティ会場では、低学年と高学年の優勝者にトロフィを授与し、お父さんやお母さんの優勝者にも素敵なプレゼントがあり、食事の後のカラオケも元気な二年生を中心に大いに盛り上がり、楽しい一日を過ごしました。

八月十日間ラジオ体操を行いました。

七月には約十日間ラジオ体操を行い、早朝にもかかわらず皆勤賞が十二名いました。八月の廃品回収では、子供たちもお手伝いに加わり、回収や缶、ビン分別に大粒の汗を流して頑張りました。資源の大切さを知る良い機会になったと思います。

さて、十七日からはいよいよ祭礼です。今年も盛り沢山の内容で準備を進めています。祭礼踊りでは子供たちが元気に太鼓を打ちます。また、模擬店ではお母さんパワー全開で頑張りますので、皆様ぜひお越し下さい。お待ちしております。

編集後記

「押すこ」第二号は如何でしたでしょうか。今回は地元飛木稲荷神社の例祭を控え「お祭り」に関する特集記事に致しました。これからも皆さんの知らなかった事などを含め、みんなの町を楽しくする為にバラエティに富んだ記事を集めて行くつもりです。記事の執筆にご協力有難うございました。

今後の記事について皆さんご意見など有りましたら、遠慮なく編集委員に対してお申し出ください。なお、次回は十二月に発行の予定です。私の趣味(第二回) はお祭り特集号のため次回掲載します。

広報誌作成の構成メンバー(敬称略)

- 編集委員 (町会) 細川、高橋、沖山、五月女、奥山、櫻井、(OST) 多賀(左)、石田(京)、(婦人会) 大橋、田辺、(子供会) 東海、井上

以上の協力を得て作成しました。